

2023年2月1日
第560号
(毎月1日発行)

咲いたネット
URL：
http://www.saitanet.or.jp
Eメール：
saita@saitanet.or.jp



発行所
埼玉県労働組合連合会
〒330-0063
埼玉県さいたま市浦和高砂
3-10-11 第一木村ビル
TEL 048-838-0771
FAX 048-838-0775
編集発行人
埼玉県労働組合連合会
【定価】1部50円
(組合員の購読料は組合費に含む)

さいたま共済会館



23春闘の方針を決定！
埼労連 単産・地域代表者会議

埼労連は、1月7日(土) 12時30分から、さいたま共済会館6階ホールで2023年の単産地域代表者会議と新春旗びらきを開催しました。

コロナウイルス感染症の第八派によって感染が拡大傾向のため、事前に感染防止に留意するため、午後の半日開催として、旗びらきも含めて組織代表のみの参加となりました。

当日は現地参加のみで行われ、12単産

26人・19地域組織21人の代表・埼労連幹事会・事務局など合わせて61人が参加しました。

冒頭、新島議長のあいさつのなかで、

昨年末の岸田内閣による安保関連3文書の閣議決定などに触れ、「今年は憲法改正を阻止するための重要な年になる。防衛費の大幅増額、それにもなつ増税などを国会での審議もせずに打ち出す岸田内閣に負けず、統一地方選の勝利に向けて23春闘での大幅賃上げ、組織の強化・拡大を成功させよう」と訴えました。

続いて宍戸事務局長から春闘方針の提案があり、この間の補強として、単産と地域が一体となって前進しているとりくみを紹介し、改めて日常のつながりづくりの大切さを確認すると同時に、長期化するコロナ禍と急激な物価高騰のもとでも、様々な知恵と工夫で、多くの労働者に労働組合の姿をみせていく大切さをあらためて強調しました。

提案後の討論では、各組織から発言があり、自治労連からは、会計年度任用職員の雇止め緊急課題について、比企労連からは、春闘期に9つある全ての自治



新島議長 あいさつ

体に要求書を提出し、住民の暮らし改善を求めていくこと、最賃課題では各自自治体の商工会と懇談を行っていくことなどが報告されました。また、発言をした各組織から、組合員一人一人の要求にしていくためのとりくみを進めていく決意が報告されました。

討論の後、宍戸事務局長のまとめを受け、方針案・討論のまとめを全体で確認し、最後に国会軽視・国民無視の姿勢を続ける岸田内閣に対する緊急決議の提案を行い承認されました。

代表者会議終了後、続けて2023年の旗びらきを行いました。

(2面に旗びらきの様子)

*** 紙面から ***

- 単産地域代表者会議
- 新春旗びらき
- 新春宣伝

- (1面)
- (2面)
- (4面)

- 奨学生募集の案内
- レイバーノーツに学ぶ
- 埼労共のページ

- (5面)
- (7面)
- (8面)

新たに「3つの挑戦」を提起

年金者組合の仲間増やし月間は9月を準備期間と位置づけ、10月、11月の2カ月間が月間となっています。この月間で16支部が支部目標を達成し、第34回定期大会時現勢を上回って終了しました。

今回の取り組みでは、これまでの月間ではなかったような現象が起きました。加入対象者にもなっていない、当然こちらから加入を働きかけなかった人が自ら加入してきたことです。1つは年金引き上げの署名活動をしている姿を見て、もう1つは、誕生会という楽しい活動を見ての加入です。

このことから言えることは、組合の活動の姿を見ることが大事なこと。こちらが積極的に働きかければ加入してくれるだろうという人がたくさんいるということ。ここに確信をもって仲間を増やしていくことが大事だと思います。

年金者組合は、月間で一定の成果を収めたとはいつももの、一方で1人も増やせなかった支部もあるし、月間中に支部の現勢を減らしてしまったりも少なからずありました。そこで、「3つの挑戦」に向け各支部が挑んでいくように提起しました。

それは、①月間中、一人も仲間を迎え入れられなかった9つの支部は引き続きゼロからの脱却に挑戦しましょう。②月間期間中、8月末現勢より下げってしまった12の支部はマイナス分を回復することに挑戦しましょう。③月間で拡大した支部は、富士見支部のように、連続拡大に挑戦しようではありませんか、というものです。

「月間が終わったら一休み」といつこれまでのスタイルからの脱却がいま年金者組合の大きな課題となっています。

(年金者組合県本部発)



23国民春闘方針を確認

全労連や純中立などでつくる国民春闘共闘委員会は、1月20日、単産・地方代表者会議を開き、月3万円以上、時間給190円以上の統一要求基準を柱とする23国民春闘方針を決めました。

小畑雅子代表幹事（全労連議

スローガン

「たたかう労働組合のバージョンアップ 低賃金と物価高騰から生活まもる大幅賃上げ・底上げを軍拡・増税でなく社会保障の充実を」。

全労連・国民春闘共闘委員会

長)は「長引くコロナ禍と物価高騰が働く者を追いつめている。抜本的で大幅な賃上げ・底上げを実現しなければ労働者の生活を守ることも、地域経済の活性化もない」と指摘。経団連が連合のベア3%程度要求を現実からかけ離れているとけん制したことに触れ

「(経団連に)都合の良い『構造的賃上げ』ではなく、全ての労働者の賃上げを握って放さない闘いが求められている。ストをはじめ交渉力を強化し、単産・地方の統一行動で団結を強めよう」と呼び掛けました。

政府が昨年末、閣議で決めた敵基地攻撃能力の保有にも言及し、日本をアメリカの戦争に巻き込むものだと危険性を指摘し、軍事費増額ではなく、命、暮らしを守る社会保障の充実を求める運動も提起しました。

要求は、企業内最低賃金協定「誰でもどこでも時給1500円以上・月22万5千円以上」をはじめ、月3万円以上・時給190円

以上(定期昇給相当分込み・10%相当)、雇用形態や男女間の均等待遇、法定最賃全国一律15000円以上など。上げ幅の要求額は昨年より引き上げています。

今年はその職場でのスト権を確立し「物価高騰を上回るべア、非正規の仲間の賃上げがなければスト決行で実現を迫る闘い」と位置付けています。

3月2日に東京・日比谷公園で行つ2千人規模の中央行動を予定し、金属大手に先行する3月8日を集中回答日とし、翌日に統一ストを配置、納得できない回答には上積みをも迫る構えです。

討論で、医労連は、医療現場の人手不足を解消し医療崩壊を避けるには大幅賃上げを含む処遇改善が不可欠と強調。全国の国立病院機構の労組である全医労が独立行政法人化後初めてスト権を確立したことを報告し「本気でストを行う春闘にする」「看護・介護の役割に見合う大幅賃上げを実現する歴史的春闘に」と語っています。

埼玉連からは、新島議長、六戸事務局長、尾形事務局次長が参加しました。

春闘スタート宣伝

埼玉労働・埼玉春闘共闘は、1月11日(水)を中心に、県内各地の自治体前と駅頭宣伝を計画し、23春闘スタート宣伝と位置づけて行いました。

昨年末から、新型コロナウイルスの感染が急拡大していますが、「コロナ禍だからこそ労働組合の姿を見せる」とりくみとして、労働相談なども呼びかけながら行いました。取り組んだところからは様々な感想が寄せられています。

北足立南部地区労は11日(水)



北朝霞駅



大宮駅西口

朝、和光市役所と新座市役所で自治体前宣伝を実施しました。新座市では昨年の教訓から1000枚チラシを増やしましたが、用意した400枚がなくなりました。夕方は、北朝霞駅前で春闘と最賃宣伝を行い、4団体19人が参加しました。午後5時30分からの短時間での宣伝でしたが最賃引き上げをアピールする赤いTシャツを10人が着て、500枚の駅頭宣伝用チラシを労働相談フリーダイヤル掲載のティッシュといっしょに元気に配布しました。最賃Tシャツを10人が着るととても目立ちま

した。

蕨地区労は、朝は蕨市役所前、夕方は蕨駅西口で宣伝を行い、自治体用チラシ、全労連「変える」ビラを配布しました。事前に配布したプラスタも活用し反応も良かったと報告されています。

さいたま地区労は朝のさいたま市役所前宣伝に10人、夕方の大宮駅西口デッキ宣伝には19人が参加して、最賃Tシャツを着て訴えました。

入間東部労連は、朝にふじみ野市役所前で宣伝、200枚を配布し、夕方はふじみ野駅で200枚を配布しています。

比企労連は、朝は東松山市役所と小川町役場前で宣伝、夕方は東



ふじみ野駅

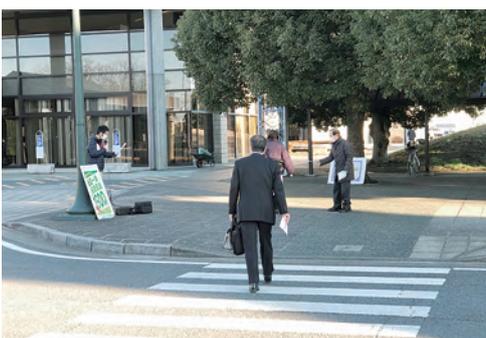


所沢市役所

松山駅で宣伝し、全体で18人が参加しています。

所沢地区労は、朝は所沢市役所前、夕方は所沢駅で宣伝を行い、延べ34人が参加しています。

深谷寄居地労連は、深谷市役所前で宣伝、「ビラの受け取りが良



蓮田市役所



上尾駅

かった」と報告が来ています。

春日部労連は、春日部市役所前で宣伝、チラシは受け取りが良かった報告が来ています。

蓮田地域労連は、例年の蓮田市役所前での宣伝に加え、夕方は蓮田駅で宣伝を行いました。

草加八潮地区労は、草加市役所前・八潮市役所前の早朝宣伝と夕方には草加駅での宣伝にとりくんでいます。延べで34人が参加し、チラシを配布しました。

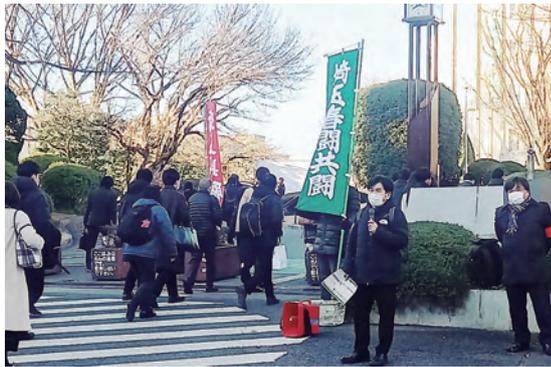
このほかにも、県内各地27自治体前、27の駅頭で宣伝が取り組まれ、延べ500人以上が行動に参加しています。いよいよ23春闘がスタートしました。

県春闘共闘も朝夕に宣伝 国民春闘埼玉県共闘会議

県の春闘共闘は、県庁前で宣伝を行い、9組織43人で約600枚配布、ほかの地域同様、感染拡大防止に配慮しつつチラシを配布し受け取りは良好でした。

また、夕方には浦和駅東口で宣伝を行い、8組織24人の参加で、春闘ビラを配布、北風が強くとっても寒い一日でしたが約400枚の春闘チラシとティッシュを配布しました。

いよいよ23春闘がスタートします。昨年末から「第8波」の感染



県庁前



浦和駅東口

拡大が始まり、コロナ禍がなかなか収束しない中で春闘のとりくみとなりますが、「コロナ禍だからこそ大幅賃上げで景気回復を」「コロナ禍と物価高騰で大変な思いをしている労働者が安心して働ける環境を」「全国一律最賃制度の実現で、どこで働いても同じ賃金がもらえるようにしよう」などを訴え、まさに国民春闘となるよう奮闘しましょう。

2月は「埼玉ビックアクション(地域総行動)」、3月は全国統一行動が計画されています。

安保関連3文書に抗議の昼デモ

オール埼玉総行動

オール埼玉総行動は、1月12日に、岸田内閣の昨年末の国会閉会後に「安保関連3文書」を閣議決定したことへの抗議の意思を示す、昼休みデモを県庁前から浦和駅まで行いました。

小出実行委員長などのあいさつの後、思い思いのプラカードや桃太郎旗を掲げて通行人にアピールしました。

平日の日中ではありませんでしたが、150人を超える仲間が参加し、元気にデモ行進しました。



昼デモの様子

23年度の奨学生募集

埼玉連がすすめる運動のひとつ「奨学金」の拡充を求めるとりくみについて、昨年に続きコープみらい財団が扱う給付型の奨学金を紹介します。

コープみらい財団では、2018年度から、コープみらいの組合員でひとり親家庭などの世帯に対して、月1万円の奨学金(返済不要)の支給を行っています。

みなさんの協力で、応援サポーターが23000人を超えたおかげで、2022年度については6

00人(応募972人)に支給し、奨学生や保護者から大変喜ばれています。

2023年度の奨学生募集が2月から開始されるため、各加盟組織に案内チラシを送付させてもらいます。組合員や家族で該当する人もいると思いますので、仲間への周知をお願いします。

募集の対象等詳しい内容についてはチラシまたはコープみらい財団HP(ホームページ)を参照してください。

返済不要 2023年度 コープみらい奨学生募集

ひとり親家庭の高校生を対象とした給付型奨学金

コープみらい奨学金は組合員の助け合いの制度です。コープみらい組合員の募金が原資です。

募集対象 ひとり親(または両親がいない)家庭の高校生
保護者がコープみらいの組合員

※2023年4月に高校に入学される方
※2023年4月に高校2年生または3年生に進級される方、コープみらい奨学生に初めて申し込める方

募集人数	600名(予定) 新入学生・在校生の合計人数です
奨学金	月額1万円(返済不要) / 高校卒業まで(最大3年)
締切日	2023年3月31日(金)必着
申し込み	奨学金申請書は必ず実印を捺印し郵送にて提出してください。 本人(学生)が在籍生で提出いただく場合は郵送も可能ですのでご注意ください。 申請書等は、当財団ホームページからダウンロードできます。 ご質問や不明な点は、電話またはお問い合わせフォームからお問い合わせください。 提出書類についてはお問い合わせください。このチラシの裏面に詳しくご説明しています。不明な点は、下記までお問い合わせください。

一部財団法人 コープみらい社会活動財団
1336-8523 (048) 789-9998 受付時間: 10時~17時(土日祝祭日)

コープみらい財団
〒330-0801 埼玉県浦和市大宮1-1-1

電話:048-789-7998 FAX:048-839-1859
(番号間違いないご注意ください) Email:miraizaidan@coopdeli.coop

最先端の頭脳を守れ

理研(理化学研究所)は、日本で唯一の自然科学の総合研究所で



文部科学省に要請する金井保之理研執行委員長(左) - 昨年12月23日、参議院議員会館

理研が3月末に380人を雇い止め 文科省は理研の違法行為に手を貸すな!

日本の基礎研究の大打撃を防ぐための緊急署名

めて合計で380人が雇い止めの危機に直面しています。

理研は研究者の8割が非正規雇

用で、任期付の研究者は毎年厳しい業績評価を受けて、1年契約を繰り返しています。10年以上残れるのは4人に1人で、雇い止めの対象となっているのは、10年間にわたって業績を上げ続けてきた経験豊富な研究者ばかりです。

いずれの研究者も理研の第4期中長期計画(2018年4月〜2025年3月)に基づいた研究プロジェクトを遂行しており、雇い止めにによりこれらの研究が中断に追い込まれます。

その理研で、経営が傾いているわけでもないのに、10年の雇用上限を理由に3月末に203人の雇い止めを強行しようとしています。その影響で42の研究チームが解散となり、チームに所属する177人も含

め、今回の雇い止めの強行は、様々な研究分野に取り返しのない打撃を与え、日本の研究力低下に拍車をかけることになるのは間違ありません。

最賃法改正案を公表

全労連・国民春闘共闘委員会は

1月20日、全国一律最低賃金制度の創設に向けた法改正構想案を公表しました。都道府県ごとに定める地域別最低賃金を「全国最低賃金」として全国一律の額とし、中小企業支援を国に義務付けるとしています。今春までに組織合意を得て、法案化と国会提出をめざす予定です。

中央最賃審議会での調査と審議を踏まえて改定額を決め、各都道府県にある地方最賃審議会は特定最賃の新設・改定を決めるために存続させるべきとしています。

制度創設の目的は、「健康で文化的な最低限度の生活」に必要な賃金を地域の別なく保障すること。地域経済の活性化と地域間格差の解消、国民経済の健全な発展につながることを強調しています。

中小企業での円滑な実施を図るため、取引の適正化や財政・税制・金融面などでの支援措置を国に義務付けることも盛り込み、公布から施行まで5年程度の準備期間を置き、現行では適用除外の公務員への適用も盛り込んでいます。

構想案は、全国47に分かれている地域別最賃を全国一律の「全国最賃」に改め、最賃決定の3要素である、地域の労働者の生計費と賃金、事業の支払い能力のうち、「事業の支払い能力」を削除。そのうえで、「科学的な最低生計費調査に基づいた、労働者とその家族の生計費」と労働者の賃金を考慮して決めるとしています。

与野党の国会議員や政党などに広く賛同を求め、最賃法改正の法案化と国会提出をめざし、自治体や地方議会、地元経済団体に働きかけるとともに、学習運動を展開。他の労働団体にも参加を呼び掛けるとしています。

最賃の地域間格差は最大で時給219円。都市部への労働力の流出を招くとともに、最賃引き上げへの重石となっています。

地域から「全国一律最低賃金制度」実現の声を広げていくことが求められます。

米レイバーノーズに学ぶ

米国の労組改革派グループ「レイバーノーズ」の活動家、バーバラ・マデローニ氏（前マサチューセッツ教員組合委員長）がこのほど来日し、スターバックスやアマゾンの組織化など、活気づく米国労働運動の現状と背景を語りました。全労連が招き、全国の組合員が組織化の教訓を学んでいます。

米国では近年、スターバックスで246店舗の7千人強、アマゾンの倉庫で働く8千人強を組織するなど大規模な組合結成を次々と成功させています。

その特徴は、労働者が自発的に同僚に声を掛け、対話を重ねながら組織化を進めていること。組合幹部に委ねるのではなく、組合員自らが要求を実現するために仲間を集めていることです。マデローニ氏は「ニューヨークのスターバックス店舗で初めて組合を結成した女性は、それまで労働組合なんて考えたこともなく、インターネッ

トで検索して、何か役に立ちそうだと思うリーダーになった。全

米約100店舗で3日間のストライキを行うところまで運動は発展している」と語っています。

アマゾンの倉庫で働く労働者の組織化でも「当初は『絶対に無理。巨大資本とたたかって生き残れない』と考えていたが、今では8千人強の労組に成長。組合員が自ら倉庫に入り、多くの対話を積み重ねた結果だ」といいます。

国際的農機具メーカーのジョン・ディアや、食品大手ケロッグでは労組がストを行い、「新たに入职した労働者の賃金を引き下げるリストラ」の廃止を実現しています。マデローニ氏は「いずれも組合執行部が『これ以上交渉を続けなくても仕方がない』と妥協を提案したところ、組合員が『それではダメだ』とひっくり返し、ストに立ち上がった」と報告しました。

経営者に対する組合員の怒りの高まりは、組合執行部の交代という形でも表れ始めています。運輸労働者の労組チームスターズや鉄道労組では大会の選挙で執行部が

変り、全米食品商業労組（UFCW）では改革派グループが執行部入りしました。

運動が高揚する背景として、数十年に及ぶ賃金の停滞と低下、過去最大の収入格差、雇用の不安定化と労働者の酷使が進んでいるとマデローニ氏は分析しています。

労組への支持もかつてなく広がっているといっています。

トランプ政権下で起きた黒人差別に抗議する「ブラック・ライブズ・マター」の運動や、不平等を指摘し企業を名指しで批判する民主党バーニーサンタースの大統領選キャンペーンなど、社会運動の高まりも後押ししたと説明し、「企業利益は過去最高。労働者は搾取され、家を追い出されてホームレスになったり、借金が膨れ上がったたりする状況だ。一方、コロナ禍で人手不足が続く。労働者は自分たちに有利な状況であることに気づき始めている。特に若い世代が非常に活発に運動に関わるようになった。大統領選挙を通じて、今の社会とは違う形があり得るといふ新しいビジョンをつかんだことが大きい」と語りました。

2月19日（日）午後1時30分から、さいたま共済会館6階ホールにおいて、「働くなかまの春をよぶつどい」を開催します。

働くなかまの春をよぶつどい

個人事業主の労働環境の課題と改善にむけた取り組みなどの報告を予定しています。

「働き方改革に隠された策略」外に、WEB参加も募集していますが、オンライン参加の場合は事前登録が必要です。

その後、「労働組合による事例報告」として、①学校現場での働き方に対する労働組合の役割、②個人事業主の労働環境の課題と改善にむけた取り組み

「働くなかまの春をよぶつどい」を企画します。参加費無料、オンライン参加も受け付けます。

2023働くなかまの春をよぶつどい

労働組合の役割と活用を学び、考える場として「つどい」を開催します。みなさん、働きには様々な人種（1人種）、年齢（25歳）、性別（男女）、勤続年数（27年）、職種（正社員）などがあります。そして、労働現場において、さまざまな労働法制度もあります。しかし、労働者は弱い立場にあります。今こそ、みんなで学び力を合わせて、雇用の安定と暮らしの向上にむけて行動しましょう。そのヒントが詰まっているのが、この「つどい」です。また、当日は弁護士や労働相談員による「労働相談会」を開催します。

2023年2月19日（日）
午後1時30分～4時00分（受付1時～）
さいたま共済会館6階
さいたま市浦和区岸町7-5-14（浦和駅西口徒歩10分）

講演
「働き方改革に隠された策略」
～財界と岸田政権の狙いを打ち砕け～
講師 秋山正臣氏（全労連副議長）

事例報告
①学校現場での働き方に対する労働組合の役割
②個人事業主の労働環境の課題と改善にむけた取り組み
③その他

※終了後、会場にて「労働相談会」、浦和駅東口で「労宣宣伝」を実施します。
オンライン（Zoom）参加の申し込みについて、お部屋の申込書をご確認ください
当日は「Web」と併用で開催します。「Web」参加される場合は、事前に裏面の「報告書」に記入し連絡をお願いします。
定員に達した場合はお断りさせていただきます。

主催/国民春闘埼玉共済会、埼玉労働者会、埼玉労働者会、労働法制埼玉連絡会
連絡先/埼玉県さいたま市浦和区高砂3-10-11（埼玉労連内） TEL:048-838-0771 FAX:048-838-0775

オンライン参加は事前登録が必要です

青年劇場公演

青年劇場が「行きたい場所をどうぞ」を2月に公演します。

一歩踏み出して見たら、まったく違う景色が見えてくるかもしれない。新しい選択肢が生まれるかもしれない。その人の日常の社会から少し外側へ考え・選んで進む。可能性・夢探しの物語で、生きることのすばらしさを伝えていきます。出演する俳優の武智香織さんは、文化・演劇は人々の感性・人生を豊かにすると張り切っています。

日時 2月23日〜28日

(14時から18時30分もしくは19時から、日によって異なります)

会場 新宿・紀伊國屋サザンシアター(タカシマヤタイムズスクエア南館7階)



料金 一般5500円

30歳以下3400円

(前売りは、300円割引・中高生1000円です)

お申込み・お問い合わせは青年劇場

03-53361-3321

2月の上映案内

2月の上映は「お終活 熟春！人生、百年時代の過ごし方」です。熟年離婚寸前の夫婦が「終活」をきっかけに定年後に訪れる「熟年の青春」「熟春」を明るく迎えるために人生整理に動き出すヒューマンコメディです。



橋爪功、高畑淳子、剛力彩芽、松山下樹、西村まさ彦、石橋蓮司など豪華キャスト！

日時 2月27日(月)

①10時30分〜12時30分

②14時〜16時

③18時30分〜20時30分

場所 埼玉会館 小ホール

埼労共専用入場整理券の利用で900円でご覧いただけます。

あっせん期間変更

すでに各組織に申込書付きのあっせんチラシを送付させていただきました。お詫言います。

薬が割安でお求めいただける申込書付きの回転パンフを各組織に11月送付させていただきました。お詫言いますが、申込受付期間が1か月短縮され、2月28日まで取り扱いは終了となります。ご利用になりました方は、期限までに直接お申し込みください。

1回の注文で4000円以上なら送料(500円)が無料。さらにWEB注文で5000円以上なら1000円補助。7000円以上なら抽選でサージカルマスク約

1年分プレゼントなどお得です。なお、④のついた商品は「特納

品」として大幅割引となっております。お得です。

2月末までとなります

Advertisement for 'あっせんのご案内' (Assistance Guide) with a list of products and prices.

フードバンク 第81便

年末のフードバンク活動では、12月26日(月)に第81便を窓口の埼玉労協に届けました。

今回は、狭山地区旁から精米20キロ、秩労連からは秩父そば・うどん(土建秩父支部提供)、煮ほうとう・乾うどんなどが埼玉土建本部から寄せられ、総量で23・65キログラムになりました。

埼労連は、引き続き異常な物価高騰・円安が国民生活に直撃しているだけに、食料品を必要として



フードバンク第81便

いる方への支援とフードロスをなくす観点からのフードバンク活動に、埼労連加盟単産・地域組織での活動具体化を新年にあたって、あらためて呼びかけます。